



第10回
日本放送作家協会賞

昭和45年5月12日
於 銀座電通ビル8階ホール

社団法人 日本放送作家協会



「題名のない音楽会」

N E T



NET制作となったのは昭和四十一年四月、世田谷区民会館での「音痴のためのコンサート」からである。四十三年九月に一時中断されたが、四十四年七月に再開され、この番組を支持する多くの人々から歓迎されている。
司会と解説 黛敏郎。指揮 石丸寛。演奏 東京交響楽団。構成 藤田敏雄。プロデューサー 牛山剛。ディレクター 畠中隆一。
番組提供 出光興産。

優秀番組賞

選考経過

久板栄二郎

本賞の対象は非常に広汎で複雑です。便宜上、フィクション、ノン・フィクションの二部門にわけて、ひろく協会員にアンケートを求めました。年間を四期にわけ、その期間中の注目すべき番組を推薦してもらい、最後に集計したものを基礎に、選考委員会で審議するという方法をとりました。協会員が贈る協会賞という趣旨は、充分にいかされたと思います。

その結果、次の通り決定しました。

- 題名のない音楽会 (NET)
- 朱鷺の墓 (NHK)



「朱鷺の墓」

N H K



NHKの銀河ドラマのひとつとして、昭和四十五年一月十二日から同月三十日まで、十五回にわたって放送された。

原作 五木寛之。脚本 高橋玄洋。演出 和田勉。
・主なる出演者 浅丘ルリ子 高橋幸治、小山田宗徳、辰巳柳太郎、南原宏治。

「題名のない音楽会」は、黛敏郎氏の司会で、かなり高度の音楽を、わかり易く、興味深く、そして一つ一つの楽器を紹介して、音楽を視聴者の身近かなものにするなど、毎回趣向をこらした、その創意性と努力に對して。「朱鷺の墓」は一月十二日から三十日まで、いわゆる銀河ドラマとして放映されたのですが、特異なテーマを正攻法のドラマ構成により、且つ、高橋幸治氏(外人役)の出色の好演に恵まれて、見ごたえある作品であったこと。近頃スタジオ・ドラマの衰退が憂えられているとき、その誠実な制作態度に、協会として声援と敬意をささげるものです。
尚、アンケート回答で上位、審査委員会でも好評、最後まで討議の対象になった番組として、「木下恵介劇場」(TBS)「天と地と」(NHK)「ムーミン」(フジテレビ)「ゲバゲバ90分」(NTV)などがあつたことを附記します。

柳下英彦

東海ラジオ放送



昭和十年七月生れ。福井市出身。京都大学卒。昭和三十五年、東海ラジオ放送に入社。現在、本社制作報道勤務。

主な演出作品 放送劇「漆水の音」。放送劇「車へ乗った」(昭和四十二年度芸術祭奨励賞)。放送劇「遠い声、はるかなる山」。朗読の為のラジオ構成「天山路」(昭和四十四年度芸術祭大賞。モスクワ放送の協力を得て、シルクロードへ現地取材した。)

将来性への期待

伊馬 春部

このひとほど、演出者としてめざまれた存在はないように思う。柳下英彦という名は、四十三年度の芸術祭奨励賞(「車へ乗った」―芦田伸介主演)受賞までは、正直いつて中央にはあまり知られていなかった。それがこのたびの「天山路」による芸術祭大賞以来、急にクローズアップされるに至った。

しかし私がめざまれたと言っているのは、この作品の取材のためにはるばるシルク・ロードを志すことを得、中ソ国境を徘徊しキルギス族その他の現地民なども交わり、またモスクワ放送の協力を得たりして数々の現地録音を達成してきた、そのことを指すのである。

これは今後の氏にプラスするところ必ずや大であろうし、ラジオ・ドラマのためいよいよ精魂かたむけてもらいたいと祈るや切なるものがある。地方局のためにも、さらに気をはいてもらいたいと思う。

金田龍之介



昭和三年六月十五日東京生れ。昭和二十一年大阪芸術劇場入団。昭和三十一年四月、劇団新派に入団(幹部待遇)して伊志井寛に師事。

主なる出演番組 赤穂浪士、横堀川、流れ雲、極楽夫人、K、花のれん、たぐい、娘繁人、万事お金、ぱり、東芝盛記、オランダおいね、東芝日曜劇場(以上TBS)悪魔一代記(ABC)東西屋門四代記(ABC)風の中にひとり、雪之丞変化(フジ)など。

舞台では、俺は藤吉郎、女優、王様と私などがある。女優、王様と私などがある。現住所 趣谷市浦生四一六一一五

二人のこと

高橋 玄洋

金田さんは大器晩成の人である。長い間、大阪の土の匂いを身につけたわき役として親しんで来たが、わき役としての金田さんは、あの大きな顔と体をブラウン管の中にもてあまし気味にみえた。人柄の良さがそうさせてしまうのだ。

大河ドラマ「ながれ雲」で堂々と上方芸人の生涯を演じてみせた金田さんは、水を得た魚のようであった。しかし、大役のせいかわだ階書の堅さがあったように思う。この大役を通り抜けて肩の荷をおろした「極楽夫婦」の金田さんには草書の柔かさと楽しさがあった。ともあれ、この二作を通して上方芸人のド根生を生きてみせた功績は大きい。

「六十にして尚花咲かせる人」『ながれ雲』の演出者土居原氏の言葉が、金田さんを最も言い当てているようだ。

男性演技者賞

高橋幸治



昭和10年6月10日生れ、新潟十日町市出身。東洋大学卒。
主な出演作品 太閤記(NHK) 助左衛門四代記(ABC) おはなはん、天と地と、飢餓海峡、朱鷺の墓(NHK) 七人の孫(TBS)など。
舞台では、日本の孤島、欲望という名の電車、風と共に去りぬ、第七天国。
映画では母、傷だらけの山河などがある。
現住所 東京都新宿区柏木四一四四五

女性演技者賞

森光子



大正12年5月日生れ、本名村上美津。
昭和35年、東宝演劇部の専属となり、昭和36年、東宝芸術座の「放浪記」に主演、文部大臣賞、テアトロロン賞などを受ける。
主な出演作品、東芝日曜劇場、娘すしや繁昌記、時間ですよ(TBS)、日産スタジアム、恋しがるらん、独身の嫁たち(NTV)女のいにくさ、いのちある日を、不貞ということ(NET)のれん繁昌記、出雲の女(フジ)など。
舞台では、越前竹人形、有田川等がある。
現住所 東京都杉並区永福二二一八

高橋幸治さんは、不思議な役者である。人間の外面をとらえて内面を透視しなければならぬドラマの世界で、動きを封じられることは、作家にとっても演者にとっても大変つらいことであるが、高橋さんは、そうした人間像を難なく(?)こなしてみせる希有的人である。この点、吉田松蔭において極まった感がある。

信長、信玄と大型英雄の虚像に挑戦してきた高橋さんだが、「朱鷺の墓」の赤毛役なども彼をおいては一寸考えられない配役であった。その成功は、どうやらあの鋭い眼と、人なつっこい眼の交錯する演技(?)に秘密がありそうである。今後は、身近かな現代の小英雄たちも彼によって貰い度いものである。

尚、以上の二氏の他、「長い坂」の中村吉右衛門「天と地と」の石坂浩二、高松英郎「男じゃないか」の関口宏(順不同)といった人たちが最終的に贈賞候補として残ったことを附記しておきます。

新らしい横顔

西島 大

ずいぶん古くからのお付き合いのようでもあるし、会うと、モリミツちゃんってこんな女だったかなと思ったりもする。そんな新らしい横顔を、いつも感じる。

ひとは森光子さんの芸風を、庶民的だという。お人柄も含めて、むしろ私だってそれに反対しようとは思わない。しかし、そうあっさりとはいえないもの、ことに最近、私は森さんの演技から受けとる。もう少し複雑なものが、翳が、森さんの演技をふくらませて来たのではないか。

森さんの芸は、理論から出発したものではないだろう。なにになにシステムとかいう俳優術とは、おそらく無縁だろう。長い間の経験が、いつの間にか今日の森さんの背骨を作り上げたのだろう。

遅きに失する贈賞と、われひとともに思う反面、案外今年あたりがピツタリではなかったかと思ったりするのも、こういう意味からだ。

「コロムビア・トップ・ライト」



コロムビア・トップ、本名、下村泰。大正11年5月6日生れ。浅草オペラ歌手藤村吾朗に師事。昭和21年、漫才としてデビュー。現住所、東京都目黒区碑文谷四丁目二〇。コロムビア・ライト、本名鳥谷二郎。昭和2年3月30日生れ。柳家三亀松に師事。昭和23年二代目ライトとなり現在に至る。現住所、東京都大田区東雪谷四丁目一〇。主なる出演番組、31年、ニッポン放送の起きぬけ漫才。34年フジテレビ開局と同時に「おとぼけ新聞」とタワί番組に出演。昭和44年日本テレビの「爆笑漫才大学」など。

放送が産んだ大衆娯楽

「シヨウ部門」を加えて

内山惣十郎

大衆芸能賞は、本年度から演芸部門とシヨウ部門の二つが定められ、演芸部門は落語、漫才、講談、浪曲、漫談等、古くからある演芸が主で、シヨウ部門は放送によって新しく産れた大衆娯楽を対照にしたもので、司会者やタレントなど出場者をすべて含んでいる。委員会は、第四次に亘るアンケートを基礎に選考を重ねた結果。

演芸部門にコロムビア・トップライト君シヨウ部門に西条凡児君を、四十四年度受賞者に推薦した。

コロムビア・トップライト両君は、「爆笑漫才大学」に其他の実績と、東京漫才界のリーダーとして、漫才の向上発展と後進の育成に尽した功績に対して。また西条凡児君は、すぐれた司会話術で「おやじパンザイ」が、十余年間高視聴率を続けている実績に対して、全員一致で理事会に推薦決定した。

西条凡児



本名、河内弘明。昭和8年大阪千日前小宝席にて初舞台。戦前、戦中は故九条芸児とコンビで漫才。戦後、ポロクソングイジェストと称して漫談に転向。昭和30年「凡児のお脈拝見」(毎日放送)。昭和39年9月「おやじパンザイ」(朝日放送)が始まり、現在に至る。昭和41年、同番組は民放祭金賞を受賞。現在のレギュラー番組は、このほかに「素人名人会」(毎日放送)がある。現住所 芦屋市船戸町七〇

演芸部門では其他に、漫談の牧野周一君、林家正蔵、桂小南、金原亭馬生師など古典落語家が上位に続き、新作落語の桂米丸君が、僅かの差で古典落語を超越せなかったのは、新作落語を書いている演芸作家にとっては残念至極で、来年度の奮起を願ってやまない。意外であったのは大坂仁輪加の一輪亭花咲さんが、放送には馴染が薄いにもかかわらず、馬生師と同点票を獲得したことで、このような隠れた郷土芸能が、放送によって広く紹介されたことは喜ばしいことで、また不振の浪曲界で、京極佳津照師が候補にのぼったことも嬉ばしい一つである。

シヨウ部門は、放送の人気番組を反映して、アンケートの推薦候補者も多士落々で、「ふるさとの歌祭り」の宮田輝氏を筆頭に、大橋巨泉、前田武彦の御両人や、小川宏、西川辰美、桂小金治君など、各局色とりどりのシヨウ番組の名司会者が上位に響を列べ、その中にあって中山千夏、高峰三枝子の御両君が、女性司会者として異彩を放っていた。コント55号の萩本、坂上両君は意外に不振で、千夏さんと同点票であったのは、去年ほどの魅力が失なわれたからであろうか……?。

CM作品賞

カルピス (こどもシリーズCM)

カルピス食品工業株式会社



創立 大正8年
 創立者 三島海雲
 資本金 20億
 社長 土倉富士雄
 戦前からの「初恋の味」というキャッチフレーズと、第一次大戦後の生活に苦しむドイツの若い芸術家を励すこともふくめて募集し、選定したクロンボの商標も、現代でも商品とともに多くの人々に親しまれている。また、子どもを使った楽しく、美しいTV CMは視聴者に好感を持ってむかえられているようである。

代理店 株式会社電通
 制作プロ(株) 電通映画社

叙情的な美しさ

狩野 新

ナンセンスがはやれば、ナンセンスに、セックスがはやればセックスにはしる。一億総ひとまね時代のコマージュル界にあって、つねに自社の製品に自信を持ち、カルピスの本質にふさわしい叙情的な表現を、長年積み重ねてきたカルピス食品工業に対し、拍手を贈ります。

従来、数年間にわたり、協会賞のCM作品賞候補として、ノミネートされてきましたので、その実績もふくみ、今年度は、選考委員全員一致で、会員アンケートでも最高点をとったカルピスのCMにきまりました。

受賞者一覧

日本放送作家協会賞

- 第一回
 企画賞「日本の素顔」(NHK)
 演出者賞 せんぼんよしこ(NTV)
 男性演技者賞 松村達雄
 女性演技者賞 黒柳徹子
 スポンサー賞 東京芝浦電気株式会社
 東芝商事株式会社
 TRG賞 和田勉(NHK)
 サンキュー賞 文化放送本社受付一同
 館野淑子(TBS受付係)
- 第二回
 企画賞「兼高かおる世界の旅」(TBS)
 演出者賞 山田智也(ABC)
 // 大坪都築(文化放送)
 男性演技者賞 ハナ肇とクレージーキャッツ
 女性演技者賞 池内淳子
 スポンサー賞 株式会社資生堂
 // エスピー食品株式会社
 TRG賞「娘と私」番組関係者(NHK)
 サンキュー賞 東京新聞ラジオテレビ欄
- 第三回
 企画賞 中川忠彦(NHK)

- 演出者賞 田甫一郎(NHK)
 // 橋本信也(TBS)
 男性演技者賞 芦田伸介
 女性演技者賞 大空真弓
 スポンサー賞 三共株式会社
 TRG賞「夫婦百景」(NTV)
 サンキュー賞 東京放送劇団
 // ニッポン放送効果班
 特別功労賞 吉田秀雄
- 第四回
 企画賞 大映株式会社テレビ室
 演出者賞 八橋卓(NET)
 演出者賞 山口淳(NHK)
 男性演技者賞 藤田まこと
 女性演技者賞 中村メイ子
 大衆芸能賞 古今亭今輔
 CM作品賞 セイコー企業CFの製作スタッフ
 // スズキ自動車工業CFの製作スタッフ
 スポンサー賞 近畿日本鉄道株式会社
 TRG賞 梅本重信 NHK
 サンキュー賞 「チロリン村とクルミの木」

関係者一同

- 第五回
 企画賞「風雪」(NHK)
 演出者賞 久野浩平(RKB毎日)
 // 「シルバークレーの空間」演出グループ(ニッポン放送)
 男性演技者賞 今福正雄
 女性演技者賞 南田洋子
 大衆芸能賞 牧伸二
 TRG賞「おかあさん」(TBS)
 // 「山本富士子アワー」(フジテレビ)
 CM作品賞「アイデアル」
 サンキュー賞「オヤカマ氏とオイソガ氏」(文化放送)
- 第六回
 企画賞「日産スター劇場」(NTV)
 // 「日本の謎」(毎日放送)
 演出者賞 岡山尚幹(フジテレビ)
 男性演技者賞 長門裕之
 女性演技者賞 小山明子
 大衆芸能賞「お笑三人組」関係者(NHK)
 特別賞 「FM名作劇場」(NHK)
 // 「木島則夫モーニングショー」
 司会者トリオ(NET)
 CM作品賞「文明堂豆劇場」(文明堂)
 サンキュー賞「お天気ママさん」(TBS)

第七回

最優秀番組賞「現代の映像」(NHK)
演出者賞

テレビ部門 今野勉(TBS)

ラジオ部門 田辺春夫(NHK)

男性演技者賞 中村錦之助

女性演技者賞 佐藤オリエ

大衆芸能賞 獅子てんや・瀬戸わんや

CM作品賞 パイロット萬年筆株式会社

新人脚本賞 渡辺やえ子「町」「バラのどげ」

同 蕪木利代「賽の河原の鬼ン姿」

第八回

最優秀番組賞「広島原爆三部作」

(広島テレビ)

演出者賞

テレビ部門 小川 秀夫(フジテレビ)

ラジオ部門 沖野 瞭(NHK)

男性演技者賞 渥美 清

女性演技者賞 渡辺美佐子

大衆芸能賞 桂 米朝

CM作品賞 「トヨタカラー」

(トヨタ自動車販売)

新人脚本賞 戸麻 竜悟「うたでなや」

第九回

最優秀番組賞「ひょっこりひょうたん島」

(NHK)

「私の昭和史」

(東京12チャンネル)

演出者賞

テレビ部門「ボララ名作劇場」

演出者グループ(NET)

テレビ部門 香西久(NHK)

男性演技者賞 川崎敬三

女性演技者賞 栗原小巻

大衆芸能賞 一竜齋貞鳳

CM作品賞「純生は生きている」

(サントリー株式会社)

久保田万太郎賞

第一回(39年)

毛利恒之「十八年目の召集」

寺山修司「犬神の女」

第二回(40年)

茂木草介「兎追いし」「ニューヨークの日本人」「逃亡者」

第三回(41年) 該当なし

第四回(42年)

高橋玄洋「いのちある日を」(NET)

小野田勇「おはなはん」(NHK)

第五回(43年)

阪田寛夫「花子の旅行」(TBS)

第六回(44年) 該当なし

日本放送作家協会賞選考委員

優秀番組賞部門

委員 久板栄二郎

委員 伊藤裕弘 伊馬春部 岩

間芳樹 内村直也 内山惣十郎 大垣 肇

菅原 卓 田井洋子 高橋玄洋 寺島アキ

子 西島 大 早坂 暁 村田修子

演出者賞部門 委員長 菅原 卓

委員 砂田量爾 長尾広生 本田 暁 水

原明人 山下与志一 委員長 大垣 肇

男女演技者賞部門 委員 青江舜二郎 宇津木澄

委員 大野靖子 近藤若菜 保利吉紀 矢代静一

大衆芸能賞部門 委員長 内山惣十郎

委員 金田達夫 木村学司 神津友好 小

島貞二 鈴木みちを 野口いさを 福井貞

則 松浦泉三郎 委員長 狩野 新

CM作品賞部門 委員 阿部正人 大橋公威 門川美代子

委員 来宮洋一 高橋克雄

新人脚本賞部門 委員長 伊藤海彦

委員 安倍徹郎 上野一雄 大藪郁子 岡

本克巳 森永武治

久保田万太郎賞選考委員会 委員長 内村直也

委員 江上照彦 大林 清 小野田勇 阪

田寛夫 毛利恒之 委員長 久板栄二郎

協会賞式典委員会 委員 宇津木澄 門川美代子 狩野新

津友好 高橋玄洋 西島 大 水原明人

社団法人 日本放送作家協会事務局

東京都中央区銀座七―四―一七

(銀座電通ビル)

電話(七五)〇二七八・〇八八二